

令和6年度 磐田市立豊田東小学校 学校評価書

%:4段階評価アンケートの「そう思う・どちらかといえばそう思う(肯定的回答)」の割合

A:十分満足(90%以上) / B:おおむね満足(80~89%) / C:もう少し努力すべき(70~79%) / D:大いに努力が必要(70%未満)

重点	取組	評価指標	令和6年度結果	評価	考察・改善策
学びひたる子	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の思いに寄り添いながら、子供たちに夢や目標をもたせ、目標達成に向かう過程を認め励ます。 ・深い児童理解に努め、個に応じた教科指導(個別最適化、多様化・多彩化)に努める。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行う。 ・聴き合う関係性の向上を通して、共に学び自分を表現する力の育成をめざす。 	1 難しいことも失敗を恐れなくて挑戦している。【児童】	84%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度から継続して、学校教育目標「夢をもち たくましく生きる子」の具現を目指し、教師は子供の思いに寄り添いながら、教育活動を推進している。それぞれの目標に向かって頑張る子供たちを認め、励ましてきた。結果は昨年度とほぼ同じであったが、子供たちが自身の努力や成長を実感できるよう次年度も継続して支えていきたい。 ○令和6年度も昨年度から継続して、重点目標(授業づくり)「学びひたる子」と設定し、目指す子供の姿として「よりよい考えや方法を探究しようとする」とした。ステージごとに学びの合言葉を設定し、子供自ら学びを深め、課題追究する授業を展開してきた。 ○項目3「授業の内容がよく分かっている」は、88%の児童が肯定的回答であった。教師の評価「個に応じた支援・指導ができていく」が100%であることから、個に応じた丁寧な指導・支援が子供たちの学習理解につながったと考えられる。 ○項目4「自分の思いを発表することができる」は、C評価であった。特に高学年は、学習内容が難しくなり、自分の意見や考えに自信をもつことができない児童が増える。主体的・対話的で深い学びを行い、友達との交流やグループ学習を充実させることで、子供たちが意見や考えに自信をもち、発表できるようにしていきたい。 ○項目5~7について、評価はBだがもう少し肯定的回答の割合を高めたい。友達と関わり合いながら課題追究するために、安定した学級経営、互いを認め合うことができる学級風土が大切である。子供同士の学び合いが充実し、授業の質が高まることで評価も上がっていくと思われる。次年度も子供たちが学ぶ楽しさを実感できるよう授業改善に努めていく。 ○外国語活動に関する項目8,9について、授業では友達同士で交流したり発表したりする活動を積極的にを行い、子供たちの活動を認め励ましてきた。今後も、苦手意識をもつ子へのフォローを丁寧に行い、外国語を用いた交流活動を充実させていく。 ○項目10「端末等を使って、自分の考えをまとめたり相手に伝えたりすることができる」は、85%の児童が肯定的回答であった。今後も、学習端末の効果的な活用方法を模索していく。
		2 将来の夢や目標を持っている。【児童】	89%	B	
		3 授業内容がよく分かっている。【児童】	88%	B	
		3 子どもたちは当該学年の学習内容を理解している。【教師】	94%	A	
		4 個に応じた支援・指導ができていく。【教師】	100%	A	
		4 自分の思いを発表することができる。【児童】	78%	C	
		5 よりよい考えや方法を追究し、考え続けることができる。【児童】	83%	B	
		6 友達の考えや意見を受け入れ、自分の考えに生かした。【児童】	86%	B	
		7 進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。【児童】	82%	B	
		8 外国語の授業が楽しい。【4年児童】	90%	A	
9 友達や先生と英語で質問したり答えたりすることができる。【5,6児童】	84%	B			
10 端末等を使って、自分の考えをまとめたり相手に伝えたりすることができる。【児童】	85%	B			
自分・仲間を大切ににする子	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら判断し行動できる環境設定を通じた自己肯定感や自己有用感の育成に努める。 ・深い児童理解と子供に寄り添い温かく丁寧な生徒指導を推進する。 	11 あいさつや返事ができている。【児童】	90%	A	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度も昨年度から継続して、重点目標(仲間づくり)「自分・仲間を大切にする子」と設定し、目指す子供の姿を「自分や仲間のよさを認められる」「めあてをもち、考えてやり抜く」とした。学級での取組に加え、委員会活動や代表委員会などを通して、子供たち自身でめあてを意識して学校生活を送ることができた。 ○項目11「あいさつや返事ができている」は90%の児童が肯定的回答であった。普段から挨拶を行う習慣が身に付いている。PTA・学府挨拶運動における保護者、地域の方々の協力も大変有難い。 ○項目12,13の学校生活に関する質問について、約90%の児童が肯定的回答であった。次年度も、学校・家庭・地域が連携し、子供たちに温かく丁寧に寄り添い、安心して学校生活を送ることができるよう教育環境を整えていく。 ○項目14について、教師は子供に寄り添い、認め励ます指導を大切にしているが、今後も継続して自己有用感、レジリエンスを高める手立てを講じていく。
		12 学級(学校)は、互いにルールを守り、協力的雰囲気がある。【児童】	90%	A	
		13 友達にあたたかい(やさしい)言葉を使うことができる。【児童】	89%	B	
		14 わたし(自分)は学校や学級、周りのために役立っている。【児童】	77%	C	
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ・運動、食育等を通じた行動体力・防衛体力向上に努める。 ・安全に関する指導を充実させ、危険予知力向上を目指す。 	15 進んで運動に取り組んでいる。【児童】	87%	B	<ul style="list-style-type: none"> ○項目15,16は、昨年度とほぼ同様の結果となった。手洗い・うがいの重要性は、子供たちにも浸透している。継続して、健康や安全に対する意識を高め、体力の向上を図っていく。
		16 手洗いうがいをしっかり行っている。【児童】	94%	A	
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ・QUTや学校生活アンケート等を活用し、子供一人一人が安心して学校生活を送れるようにする。 ・SCやSSWと連携を図り、困難を抱えている児童、保護者の支援を行う。 	17 学校が楽しい。【児童】	90%	A	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uテストや学校生活アンケート等の積極的活用はもちろん、日々の子供の表れや変化を丁寧に見取り、対応してきた。一方で、「学校が楽しくない」「学校に相談できる人がいない」という子も一定数いることも事実である。「チーム学校」として学校全体が連携し、予防的生徒指導、早期アプローチを怠ることなく行い、誰もが安心して学校生活を送れるように努力していく。
		18 学校に相談できる人がいる。【児童】	90%	A	
		19 教師は子どものことを理解して指導にあたっている。【保護者】	98%	A	
地域な社会と学校	<ul style="list-style-type: none"> ・CSDとの連携を図り、学校支援ボランティアを始め、地域や家庭の教育力を学校教育に活かす。 ・本校の教育活動についての理解が深まるよう、丁寧かつ分かりやすい情報発信に努める。 	20 中学校での学習や生活を楽しみにしている。【6年児童】	77%	C	<ul style="list-style-type: none"> ○項目20について、6年生は年間を通して豊田北部小6年生と交流する機会があり、一体校を訪れることで中学校の雰囲気も感じることができている。中学生との交流も積極的に行っていきたい。 ○項目21の結果から、保護者の方が豊田東小の教育方針に理解を示し、信頼を寄せてくださっていることが分かる。今後も、丁寧かつ分かりやすい情報発信を心掛けるとともに、学校教育に関わる多くの方との意見交換の機会を大切にしていきたい。 ○項目22について、子供たちが地域の歴史や自然に対する関心を高めるために、地域の歴史ある文化施設や豊田東交流センター、地域ボランティアの方々の連携を充実させていきたい。
		21 豊田東小で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。【保護者】	96%	A	
		22 今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。【児童】	80%	B	
		23 子どもたちは、地域の人たちと、学校や地域で関わっている。【教師】	100%	A	
【学校関係者評価委員からの意見】		【学校関係者評価を受けてのまとめ】			
<ul style="list-style-type: none"> ・項目4「自分の思いを発表することができる」はC評価だが、大人でも人前で意見を述べることは難しい。聞き手となる友達や教師が発表者の意見を受け入れたり価値付けたりして、意欲的に発表する子を育ててほしい。 ・6年生の総合学習「ようこそ先輩」は、様々な職種の方の講話を聴ける貴重な機会となっているので、ぜひ継続してほしい。キャリア教育充実のために、地域としても協力していきたい。 ・先生方が子供たちの思いを大切に温かく支援しているため、学校生活を安心して任せられる。今後も地域や交流センター、保護者が学校と連携して子供たちを支えていきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員の方から、豊田東小の教育活動に対して肯定的なご意見をいただくことができた。子供たちの良さを一層伸ばしていく指導・支援を行ってほしい。一方、指摘していただいた課題を含め、学校評価結果について全職員で共有し、特に数値が下がった項目については改善を図っていく。今後も、学校、地域、保護者が連携を図り、地域の宝である子供たちの健やかな成長への期待に応えていきたい。 			